

抗がん剤適正使用ガイドラインに記載されている医薬品

資料5	エビ	勧告	適応	療法名							企業名(適応外)
急性前骨髄性白血病(APL)	1	A	○		トレチノイン						
急性前骨髄性白血病(APL)	1	A	○		トレチノイン	イダルビシン					
急性前骨髄性白血病(APL)	1	A	○		ダウノルビシン	シタラビン又はBHAC					
急性前骨髄性白血病(APL)	1	A	○		BHAC						
急性リンパ球白血病(ALL)	3	C			副腎皮質ホルモン	ピンクリスチン	ダウノルビシン				
急性リンパ球白血病(ALL)	3	C	○		イダルビシン						
急性非リンパ球白血病(ANLL)	1	A	○		シタラビン	ダウノルビシン	シタラビン				ファルマシア
急性非リンパ球白血病(ANLL)	1	A	x		◎イダルビシン		シタラビン				
急性非リンパ球白血病(ANLL)	1	A	○		ミトキサントロン		シタラビン				
慢性骨髄性白血病(CML)	1	A	○		インターフェロン-α						
多発性骨髄腫	2	B	x	GP	シクロホスファミド	◎プレドニゾン					塩野義、武田
多発性骨髄腫	2	B	x	MP	メルファラン	◎プレドニゾン					塩野義、武田
多発性骨髄腫	2	B	x	VBMCP	ピンクリスチン	★カルムスチン	シクロホスファミド	メルファラン	◎プレドニゾン		塩野義、武田
多発性骨髄腫	2	B	x	VMCP	ピンクリスチン	メルファラン	シクロホスファミド	◎プレドニゾン			
多発性骨髄腫	2	B	x	VCAP	ピンクリスチン	シクロホスファミド	◎ドキシソルビシン	◎プレドニゾン			DXR:協和発酵
多発性骨髄腫	2	B	x	VBAP	ピンクリスチン	★カルムスチン	◎ドキシソルビシン	◎プレドニゾン			協和発酵
多発性骨髄腫	2	A/B	x		ピンクリスチン	◎ドキシソルビシン	◎ドキシソルビシン	◎プレドニゾン			デキサ:オルガノン・三共/万有
多発性骨髄腫	1/2	A/B	x		メルファラン	◎プレドニゾン	インターフェロン-α				塩野義、武田
早期ホジキンリンパ腫	1	A	○	ABVD	ドキシソルビシン	プレオマイシン	ビンブラスチン	ダカルバジン			
進行期ホジキンリンパ腫	1	A	○	ABVD	ドキシソルビシン	プレオマイシン	ビンブラスチン	ダカルバジン			
ホジキンリンパ腫(寛解後再発例・初回化学療法不応)	1	A	x	BEAM	★カルムスチン	◎シタラビン	エトポシド	◎メルファラン	ダカルバジン		日本新薬、グラクソ・スミスクライン
濾胞性非ホジキンリンパ腫	2/3	B			△リツキサソ	△フルダラビン	△インターフェロン-α				
瀰漫性非ホジキンリンパ腫	1	A	?	CHOP	シスプラチン	ドキシソルビシン	ピンクリスチン	プレドニゾン			
切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ビンブラスチン					
切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ビンデシン					
切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ビンデシン	マイトマイシンC				
切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌	1	A	○		カルボプラチン						
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ビンデシン	(マイトマイシンC)				
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	x		シスプラチン	◎エトポシド					日本化薬/ブリストル
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	パクリタキセル					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ドセタキセル					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		カルボプラチン	パクリタキセル					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	パクリタキセル					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ビノレルビン					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	ゲムシタピン					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	イリノテガン					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	2	B	○		ゲムシタピン	ドセタキセル					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	2	B	○		パクリタキセル	ビノレルビン					
切除不能Ⅳ期非小細胞肺癌	2	B	○		ドセタキセル	イリノテガン					

◎: 適応外(当該効能が承認されていない) ★: 未承認(当該医薬品が承認されていない) △: その他

抗がん剤適正使用ガイドラインに記載されている医薬品

限局型小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	エトポシド														
限局型小細胞肺癌	1	A	○		エトポシド(経口)															
進展型小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	エトポシド														
進展型小細胞肺癌	1	A	○		シスプラチン	イリノテカン														
進展型小細胞肺癌	1	A	×	EP-CAV変替療法	シスプラチン	エトポシド	シクロホスファミド	ドキソルビシン	◎ビンクリスチン											イーライリリー・塩野義
高齢者小細胞肺癌	4	E	○		カルボプラチン	エトポシド														
手術不能進行・再発胃癌	2	B	○		5-FU	(ホリナート)														
手術不能進行・再発胃癌	2	B	○		経口フッ化ピリミジン(テガフル、ドキシフルリジン、カルモフル)															
手術不能進行・再発胃癌	2	B	○		経口フッ化ピリミジン合剤(UFT、S-1)															
手術不能進行・再発胃癌	2	B	○		イリノテカン															
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○		メトトレキサート	5-FU														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○	MFC	5-FU	マイトマイシンC	シタラビン													
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○	FM	5-FU	マイトマイシンC														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○		FT	マイトマイシンC														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○		UFT	マイトマイシンC														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○		ドキシフルリジン	マイトマイシンC														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○		5-FU	ドキソルビシン														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○	FAM	5-FU	ドキソルビシン	マイトマイシンC													
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○		5-FU	シスプラチン														
手術不能進行・再発胃癌	1	B	○	FAMTX	5-FU	ドキソルビシン	メトトレキサート													
手術不能進行・再発胃癌	1	B	×	EAP	◎エトポシド	ドキソルビシン	シスプラチン													日本化薬/ブリストル
手術不能進行・再発大腸がん	1	A	○		5-FU	ホリナート														
手術不能進行・再発大腸がん	1	A	○		UFT	ホリナート														
手術不能進行・再発大腸がん	1	A	×		◎メトトレキサート	5-FU														ワイズレダリー・武田
手術不能進行・再発大腸がん	1	A	○		イリノテカン	5-FU														
手術不能進行・再発大腸がん	2	B	○		5-FU															
手術不能進行・再発大腸がん	2	B	○		経口フッ化ピリミジン(FT、5-DFUR、HCFU)															
手術不能進行・再発大腸がん	2	B	○		経口フッ化ピリミジン合剤(UFT)															
手術不能進行・再発大腸がん	2	B	○		イリノテカン															
手術不能進行・再発大腸がん	2	B	○		5-FU	シスプラチン														
手術不能進行・再発大腸がん(second Line)	1	A	○		イリノテカン															
進行・再発膀胱がん	1	A	○		ゲムシタビン															
進行・再発膀胱がん	2	B	○		5-FU															
胃がん術後補助療法	1	A	○		マイトマイシンC															
胃がん術後補助療法	1	A	○		マイトマイシンC	5-FU系	アンスラサイクリン系	ピシカルカロイド系	アルキル化剤											
胃がん術後補助療法	1	B	○		マイトマイシンC	FT														
胃がん術後補助療法	1	B	○	FAM	マイトマイシンC	5-FU	ドキソルビシン													
胃がん術後補助療法	1	B	×		5-FU	★ロムスチン														

◎: 適応外(当該効能が承認されていない) ★: 未承認(当該医薬品が承認されていない) △: その他

抗がん剤適正使用ガイドラインに記載されている医薬品

胃がん術後補助療法	1	B	×		5-FU	★カルムスチン													
胃がん術後補助療法	1	B	○		ドキシソルビシン(エビルビシン)	5-FU	ホリナート												
胃がん術後補助療法	1	A	×	腹腔内投与	マイトマイシンC	◎5-FU													協和発酵
胃がん術後補助療法	1	A	○	免疫化学療法	マイトマイシンC	5-FU系	PSK(OK-432)												
大腸がん術後補助療法	1	A	○		5-FU	ホリナート													
大腸がん術後補助療法	1	A	○		マイトマイシンC	経口フツ化ピリミジン	(FT, 5-DFUR, HCFU)												
乳がん術後補助化学療法	1	A	○	AC	ドキシソルビシン	シクロホスファミド													
乳がん術後補助化学療法	1	A	○	CAF	5-FU	ドキシソルビシン	シクロホスファミド	シクロホスファミド											
乳がん術後補助化学療法	1	?	○	FEC	5-FU	エビルビシン	シクロホスファミド	シクロホスファミド											
乳がん術後補助化学療法	1/2	?	○	EC	エビルビシン	シクロホスファミド													
乳がん術後補助化学療法	1	A	○	CMF	シクロホスファミド	メトレキサート	5-FU												
乳がん術後補助化学療法	?	?	○		ドセタキセル(パクリタキセル)														
乳がん術後補助化学療法	1	?	○		経口フツ化ピリミジン														
乳がん術後補助内分泌療法	1	A	○		タモキシフェン														
乳がん術後補助内分泌療法	1	?	○		LH-RH agonist														
転移性乳がん	1	A	○	AC	ドキシソルビシン	シクロホスファミド													
転移性乳がん	1	A	○	CAF	ドキシソルビシン	シクロホスファミド	5-FU												
転移性乳がん	1	?	○	FEC	エビルビシン	シクロホスファミド	5-FU												
転移性乳がん	1	A	○		ドセタキセル														
転移性乳がん	1	A	○		パクリタキセル														
転移性乳がん	1	?	○	CMF	シクロホスファミド	メトレキサート	5-FU												
転移性乳がん	1	A	○		タモキシフェン														
転移性乳がん	1	A	○		LH-RH agonist														
転移性乳がん	1	A	○		アロマトーゼ阻害剤														
転移性乳がん	2	C	○		MPA														
転移性乳がん	1	?	○		TOM														
転移性乳がん	2	?	○	強化化学療法	G-CSF	エビルビシン	シクロホスファミド												
転移性乳がん	1	?	○		トラスツズマブ														
卵巣がん	1	A	○	TP(DP)	パクリタキセル(ドセタキセル)	シスプラチン													
卵巣がん	1	B	○	TJ(DJ)	パクリタキセル(ドセタキセル)	カルボプラチン													
卵巣がん	2	B	×	C(A)P	シクロホスファミド	◎(ドキシソルビシン)	シスプラチン												協和発酵
卵巣がん	2	B	○	CJ	シクロホスファミド	カルボプラチン													
子宮体がん	2	B	○	CAP	シクロホスファミド	ドキシソルビシン	シスプラチン												
子宮頸がん	2	B	○		シスプラチン														
子宮頸がん	2	B	×	BIP	◎ブレオマイシン	イホスファミド	シスプラチン												日本化薬
子宮頸がん	2	B	×	BOMP	◎ブレオマイシン	◎ピンクリスチン	マイトマイシンC	シスプラチン											イーライリリー・塩野義

◎: 適応外(当該効力が承認されていない) ★: 未承認(当該医薬品が承認されていない) △: その他

抗がん剤適正使用ガイドラインに記載されている医薬品

子宮頸がん	2B	○		イリノテカン									
子宮頸がん	1A	○	RT併用	シスプラチン									
子宮頸がん	1A	○	RT併用	シスプラチン	5-FU								
膀胱がん	1A	○	膀胱内注入	マイトマイシンC									
膀胱がん	1A	○	膀胱内注入	ドキソルピシン(エビルピシン)									
膀胱がん	1A	○	膀胱内注入	BCG									
膀胱がん	1A	×	CISCA	シスプラチン	◎シクロホスファミド	ドキソルピシン					塩野義		
膀胱がん	1A	×	M-VAC	◎メトトレキサート	◎ビンブラステン	ドキソルピシン	シスプラチン				ワイズレダリー・武田、イーライリリー・塩野義		
膀胱がん	1A	×	CMV	シスプラチン	◎メトトレキサート	◎ビンブラステン					"		
膀胱がん	1A	×	MEC	◎メトトレキサート	エビルピシン	シスプラチン					ワイズレダリー・武田		
膀胱がん	1A	×	intensified MEC	◎メトトレキサート	エビルピシン	シスプラチン	G-CSF				"		
腎細胞がん(StageⅡ～Ⅲ)	3C	○		IFN(又はIL-2)									
"(StageⅣ)	1A	○		IFN									
精巣腫瘍(進行性、good risk群)	1A	×	BEP	◎プレオマイシン	エトポシド	シスプラチン					日本化薬		
精巣腫瘍(進行性、good risk群)	1A	○	EP	エトポシド	シスプラチン						"		
精巣腫瘍(進行性、poor risk群)	1A	×	BEP	◎プレオマイシン	エトポシド	シスプラチン					"		
精巣腫瘍(進行性、poor risk群)	1A	×	VIP	◎エトポシド	◎イホスファミド	シスプラチン					塩野義		
精巣腫瘍(進行性、再発例)	1A	×	VIP	エトポシド	◎イホスファミド	シスプラチン					"		
精巣腫瘍(進行性、再発例)	1A	×	VeIP	◎ビンブラステン	◎イホスファミド	シスプラチン					イーライリリー・塩野義		
前立腺がん	1A	○		LH-RHアゴニスト									
前立腺がん	1A	○		フルタマイド(抗男性ホルモン)									
前立腺がん	1A	×		◎エストロゲン製剤									
成人大脳半球悪性グリオーマ	1A	×		◎ニトロソウレア							三共		
成人大脳半球悪性グリオーマ(再発症例)	2A	×		◎ニトロソウレア(白金製剤)									
中枢神経系原発リンパ腫(PCNSL)	2B	×		メトトレキサート(high dose)									
髄牙腫	1A	×		◎ニトロソウレア	◎ピンクリステン	◎(プレドニゾン)					イーライリリー・塩野義		
頭蓋内胚細胞腫瘍	2B	×		◎シスプラチン(カルボプラチン)	◎エトポシド						ブリストル		
悪性黒色腫	1A	○		ダカルバジン									
悪性黒色腫	1A	×		★TMZ(テモゾロミド)									
悪性黒色腫	1A	×		ダカルバジン	◎シスプラチン	ビンブラステン(ビンデシン)					日本化薬/ブリストル		
悪性黒色腫	1A	×		プレオマイシン	★ロムスチン	◎ピンクリステン	ダカルバジン				イーライリリー・塩野義		
悪性黒色腫	1A	×		ダカルバジン	ニムスチン	◎ピンクリステン					"		
悪性黒色腫	1A	×		ダカルバジン	★カルムスチン	◎シスプラチン	◎タモキシフェン				日本化薬/ブリストル、アストラゼネカ		
悪性黒色腫	1B	×		◎シスプラチン	◎IFN-α	◎IL-2					塩野義/武田		

◎: 適応外(当該効能が承認されていない) ★: 未承認(当該医薬品が承認されていない) △: その他

抗がん剤適正使用ガイドラインに記載されている医薬品

悪性黒色腫	1	B	x		ダカルバジン	★カルムスチン	◎シスプラチン	◎タモキシフェン	◎IFN-α					
悪性黒色腫	1	B	x		ダカルバジン	◎シスプラチン	ピンプラスチン	◎IFN-α	◎IL-2					
悪性黒色腫	1/2	A/B	x		◎IFN-α									
悪性黒色腫	2/3	B/C	x		ダカルバジン	ニムスチン	◎ピンクリスチン	IFN-β (DAV-Feron)					イーライリリー・塩野義	
有棘細胞癌	2/3	B	x		◎ペプロマイシン								日本化薬	
有棘細胞癌	2/3	B	x		◎プレオマイシン								日本化薬	
有棘細胞癌	2/3	B	○		イリノテカン								協和発酵	
有棘細胞癌	3	B	x	PM	ペプロマイシン	◎マイトマイシンC							日本化薬/ブリistol	
有棘細胞癌	3	B	x	CA	◎シスプラチン	ドキソルピシン							ブリistol、ファルマシア・協和発酵	
有棘細胞癌	3	B	x	C' A'	◎カルボプラチン	◎エピルピシン							日本化薬/ブリistol	
有棘細胞癌	3	B	x		◎シスプラチン	5-FU	プレオマイシン(ペプロマイシン)							
骨肉腫	1	A	○		メトトレキサート(High Dose)	ホリナート(Rescue)								
骨肉腫	1	A	○		シスプラチン	ドキソルピシン								
骨肉腫	1	A	○		イホスファミド	シスプラチン								
骨肉腫	1	A	x	BCD	◎プレオマイシン	シクロホスファミド	◎アクチノマイシンD						日本化薬、万有	
骨肉腫	1	A	○		イホスファミド(High Dose)									
円形細胞肉腫	2/3	A	x	VACAd	◎ドキソルピシン	ピンクリスチン	◎アクチノマイシンD	シクロホスファミド					協和発酵、万有	
〃	2/3	A	x	VAIA	イホスファミド	◎ドキソルピシン	ピンクリスチン	◎アクチノマイシンD					〃	
〃 小児、小腫瘍量例	2/3	A	x	VAC	シクロホスファミド	ピンクリスチン	◎アクチノマイシンD						万有	
〃 肺転移例	3	C	x		◎ドキソルピシン	ピンクリスチン	◎アクチノマイシンD	シクロホスファミド	イホスファミド				協和発酵、万有、日本化薬/ブリistol	
〃	3	C	x		シクロホスファミド(High Dose)	◎ドキソルピシン	ピンクリスチン	イホスファミド	◎エトボシド				協和発酵、日本化薬/ブリistol	
〃	3	C	x		イホスファミド(High Dose)	◎エトボシド							日本化薬/ブリistol	
成人発生の悪性軟部腫瘍	2/3	C	x		◎ドキソルピシン	◎ダカルバジン							協和発酵	
成人発生の悪性軟部腫瘍	2/3	C	x		◎ドキソルピシン	◎ダカルバジン	◎イホスファミド						協和発酵、塩野義	
成人発生の悪性軟部腫瘍	2/3	C	x		◎ドキソルピシン	◎イホスファミド							協和発酵、塩野義	

◎: 適応外(当該効能が承認されていない)

★: 未承認(当該医薬品が承認されていない)

△: その他

資料6(当日追加配布)

専門家による候補品目の選定について

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	備考	
1	膀胱がん	M-VAC, MTX/VLB/ADR/CDDP	メトトレキセート (MTX) ビンブラスチン (VLB)	臓器がん別の抗がん剤投与の承認（経静脈投与）	
2	睾丸腫瘍	BEP, CDDP/ETP/BLM	プレオマイシン (BLM)		
3	軟部肉腫	MAID, Mesna/ADM/IFM/DTIC	アイフォスファミド (IFM) ダカルバジン (DTIC)		
4	軟部肉腫	CyBADIC, CPA/VCR/ADM/DTIC	ダカルバジン (DTIC)		
4'	軟部肉腫	MAID, Mesna/ADM/IFM/DTIC CyBADIC, CPA/VCR/ADM/DTIC	アドリアマイシン		
4''	子宮体がん	CAF, CDDP/ADR/5-FU VAD, VCR/ADR/DEX	シスプラチン アドリアマイシン		
5	多発性骨髄腫	VAD, VCR/ADR/DEX	ビンクリスチン (VCR)		
6	悪性黒色腫	DAV-feron, DTIC/ACNU/CDDP/IFN	ニムスチン (ACNU)		
7	胚細胞腫瘍 (germ cell tumor)	BEP (CDDP/ETP/BLM)	シスプラチン エトポシド プレオマイシン		組織型に基づく抗がん剤投与の承認：原発臓器と無関係に承認（性腺原発／性腺外原発）
8	胚細胞腫瘍 (germ cell tumor)	EP (CDDP/ETP)	シスプラチン エトポシド		
9	胚細胞腫瘍 (germ cell tumor)	VIP (VDDP/ETP/IFM)	シスプラチン エトポシド イフォマイド		
10	胚細胞腫瘍 (germ cell tumor)	VAB-6 CPA/VLB/ACD/BLM/CDDP	サイクロフォスファミド ビンブラスチン アクチノマイシン-D プレオマイシン シスプラチン		

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	備考
11	移行上皮がん (transitinal cancer)	M-VAC (MTX/VLB/ADR/CDDP)	メトトレキサート ビンブラスチン アドリアマイシン シスプラチン	組織型に基づく抗がん剤投与の承認：尿路上皮がんの全てに承認
12	移行上皮がん (transitinal cancer)	GEM/CDDP	ジェムシタピン シスプラチン	
13	小細胞がん (small cell cancer)	PE (CDDP/ETP)	シスプラチン エトポシド	織型に基づく抗がん剤投与の承認：子宮頸部原発、大腸原発、膵臓原発の小細胞がん
14	がん性腹膜炎	腹腔内注入	シスプラチン マイトマイシンC	
15	がん性胸膜炎	胸腔内注入	シスプラチン ブレオマイシン ミノマイシン タルク	
16	がん性髄膜炎	髄注	メトトレキサート キロサイド	
17	乳がん、肺がんの骨転移		ビスフォスフォネート	骨転移や悪性腫瘍の骨破壊に対する薬剤の承認
18	多発性骨髄腫		ビスフォスフォネート	
19		毎週投与	タキサン類 (TXL, TXT)	既存承認抗がん剤の新たな投与スケジュール、ルートの承認
20		3日間投与であるが、それを単回投与とし、50mg/m ² /回と改める	アドリアマイシン	
21		適応疾患ならば、動脈内投与、腹腔/胸腔内投与も適応とする	5-FU シスプラチン カルボプラチン マイトマイシン	
22			カルボプラチン	腎機能低下患者におけるシスプラチンの代替としてのカルボプラチン投与の承認

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	備考
1	肝・胆・膵がん	TS-1 + cisplatin	TS-1 cisplatin	
2	肝・胆・膵がん	TS-1 + gemcitabine	TS-1 gemcitabine	膵がんの適用あり
3	肝・胆・膵がん	TS-1 + oxaliplatin	TS-1 oxaliplatin	未承認?
4	肝・胆・膵がん	TS-1 + docetaxel	TS-1 docetaxel	
5	肝・胆・膵がん	TS-1 + paclitaxel	TS-1 paclitaxel	
6	大腸がん	5-FU + leucovorin + oxaliplatin	5-FU leucovorin oxaliplatin	未承認?
7	大腸がん	CPT-11 (イリノテカン) + oxaliplatin	CPT-11 oxaliplatin	
8	大腸がん	capecitabine + cisplatin	capecitabine cisplatin	
9	大腸がん	capecitabine + oxaliplatin	capecitabine oxaliplatin	

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	企業名(適応外)	エビ	勧告	適応
1	多発性骨髄腫	VBMCP	カルムスチン プレドニゾン	塩野義、武田	2	B	×
		ピンクリスチン カルムスチン シクロホスファミド メルファラン					
2	胃がん術後補助療法	腹腔内投与	5-FU	協和発酵	1	A	×
		マイトマイシンC 5-FU					
3	卵巣がん	C(A)P	(ドキシソルピシン)	協和発酵	2	B	×
		シクロホスファミド (ドキシソルピシン) シスプラチン					
4	膀胱がん	M-VAC	メトトレキサート ビンブラスチン	ワイスレダリー・武田、イー ライリリー・塩野義	1	A	×
		メトトレキサート ビンブラスチン ドキシソルピシン シスプラチン					
5	膀胱がん	MEC	メトトレキサート	ワイスレダリー・武田	1	A	×
		メトトレキサート エピルピシン シスプラチン					
6	膀胱がん	intensified MEC	メトトレキサート	//	1	A	×
		メトトレキサート エピルピシン シスプラチン G-CSF					

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	企業名(適応外)	エビ	勧告	適応
7	精巣腫瘍(進行性、good risk群)	BEP	プレオマイシン	日本化薬	1	A	×
		プレオマイシン エトポシド シスプラチン					
8	精巣腫瘍(進行性、poor risk群)	BEP	プレオマイシン	//	1	A	×
		プレオマイシン エトポシド シスプラチン					
9	精巣腫瘍(進行性、poor risk群)	VIP	イホスファミド	塩野義	1	A	×
		エトポシド イホスファミド シスプラチン					
10	精巣腫瘍(進行性、再発例)	VIP	イホスファミド	//	1	A	×
		エトポシド イホスファミド シスプラチン					
11	精巣腫瘍(進行性、再発例)	VeIP	ピンブラスチン イホスファミド シスプラチン	イーライリリー・塩野義	1	A	×
		ピンブラスチン イホスファミド シスプラチン					

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	理由
1	非小細胞肺癌	単剤	ピンクリスチン	
2	非小細胞肺癌	単剤	エトポシド	
3	小細胞肺癌	単剤	ピンクリスチン	
4	小細胞肺癌	単剤	パクリタキセル	
5	非小細胞肺癌	シスプラチン エトポシド	エトポシド	「Evidence-based Medicine (EBM) の手法による肺癌診療ガイドライン策定に関する研究」班の平成14年度報告を参考にして検討した結果による適用外の抗がん剤の組み合わせである。
6	小細胞肺癌	シクロフォスファミド ドキシソルビシン		
7	小細胞肺癌	ピンクリスチン カルボプラチン パクリタキセル	ピンクリスチン パクリタキセル	

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	理由
1	中高悪性度非ホジキンリンパ腫	ESHAP療法	シスプラチン	中高悪性度非ホジキンリンパ腫の再発・不応例に対する救援（サルベージ）療法
2	中高悪性度非ホジキンリンパ腫	DeVIC療法	イホスファミド	
3	中高悪性度非ホジキンリンパ腫	ICE療法	イホスファミド	

※多発性骨髄腫はMP療法以外に適応の療法はなく、標準的治療であるVAD療法もすべての薬剤が適応外であるが、日常診療で査定されることはないようである。

番号	対象疾患	併用療法	適用外等の薬剤	理由
1	吐き気を伴う抗癌剤を使用する疾患	5HT ₃ 受容体拮抗薬 + DECADRONE	DECADRONE	吐き気止めとして広く使われ、効果も検証されているにも拘わらず、吐き気止めの適応がない。
2	術後乳癌	FEC (5FU + EPIRUBICIN + CPA)	EPIRUBICIN@100 mg/m ²	我が国の承認投与量は60mg/m ² 、海外でのエビデンスのある100mg/m ² の適応がない。
3		AC・TAXOTERE (ADM + CPA)	TAXOTERE @ 100 mg/m ²	我が国の承認投与量は70mg/m ² 、海外でのエビデンスのある100mg/m ² の適応がない。
4		Dose Dense AC・PACLITAXEL	G-CSF@予防的投与および自己注射	予防的投与および自己注射が認められていないため、エビデンスのあるDose Dense Therapyが実施できない。
5		AC	ADRIAMYCIN @ 60 mg/m ²	添付文書上の投与量の記載が不適切なため、標準的治療であるACがしばしば査定される。
6		転移性乳癌	PACLITAXEL + CARBOPLATIN+HERCEPTIN	CARBOPLATIN
7	WEEKLY PACLITAXEL + CARBOPLATIN+HERCEPTIN		WEEKLY PACLITAXEL	3週1回に比べ毎週投与の方が生存期間の延長が認められている (ASCO2003, SABCS2003)
8	胚細胞腫	BEP (BLM + ETOPOSIDE + CDDP)	BLM	標準的初回治療である。
9		VIP (ETOPOSIDE + IFOMIDE + CDDP)	IFOMIDE	標準的第二次治療である。
10	食道癌	CDDP+CPT-11	CPT-11	有効性が確認されている。